

《第3回 ICD特別賞受賞者》

ICD Japan Section Special Award 2022 特別賞を受賞して

ICDマスターフェロー
医療法人社団 水谷歯科クリニック



水谷 忠 司

●抄 録●

この度の特別賞受賞に際し推薦をして頂いた先生並びに審査の先生方に心より感謝申し上げます。

私のボランティア活動は愛知学院大学歯学部の大野教授と学会に出掛けたインドやネパールでの海外ボランティアである。APDC学会で友人となった現地の歯科医師数名と7年程続けて山間部の小中学校を訪れた。

1998年頃より愛知学院大学歯学部の海外支援の関係によりミャンマーでの歯科ボランティア活動に参加。大野教授と私を含め6～7名の日本人歯科医師と衛生士数名の日本人スタッフとヤンゴン歯科大学の口腔外科との合同チームによるものである。

歯科医師としてボランティア活動が出来る素晴らしさを感じながら続けている。

キーワード：APDC、山間部無医村、ボランティア診療、ICD国際交流

I. 私の海外ボランティア活動

1) 海外ボランティアの始まり

～インド・ネパールでの活動～

1987年APDC (Asian Pacific Dental Congress) の学会がインドで開催され参加をした。その学会で友人となった数名のインド人歯科医師とニューデリー近郊の小中学校で検診と口腔衛生指導を行う事になった。これが私の海外でのボランティア活動の最初である。

言語や生活習慣の違いとそしてカースト制度が未だ色濃く残っており初めは全ての場面で翻弄されることばかりだった。しかし回数を重ねる事に互いに成果が得られる様になった。ともに活動を行ったインド人の歯科医師Dr.Sunil KruslaとDr.Puodip Jayuaとは今も交流を続けている。

ネパールでの活動は、いつもインドの帰りにネパー

ル人の歯科医師Dr.BasnyatとDr.shresthaと共にインドでの活動と同様のボランティア活動を開始。ネパールではカトマンズの近郊にあるアナンダクティスクールともう一か所、標高2800メートル付近にある山間部のクムジュン村にあるヒラリースクールでの活動



図1 第3回ICD特別賞表彰式



図2 ヤンゴン大学スタッフと日本人スタッフ



図3 山村の小学校講堂での治療



図4 ミャンマーの友人Pr. Paine Souヤンゴン大学教授とDr. Myo Thantミャンマー ICDメンバー



図5 ミャンマー陸軍士官校長と一緒に（現 副将軍）

だった。この学校には満足な電気や水道の設備は殆どなく、そして子供たちは毎日の歯磨きの習慣すらなかった。そこでこの学校を訪れるときには歯ブラシや鉛筆などの筆記用具を子供達にプレゼントした。

2) ～ミャンマーでのボランティア活動～

1998年愛知学院大学歯学部海外支援ボランティア活動の一環として、ヤンゴン歯科大学口腔外科スタッフと大野教授をリーダーとして、私の友人数名の日本人歯科医師とミャンマー北部山村にある無医村での歯科診療及び口腔衛生指導の活動を行った。そのボランティア活動支援や参加は17回に及んだ。

北中部の高原の山奥の小さな街KALOW地区のお

寺の本堂や小学校の講堂を使っての歯科診療である。ミャンマーの歯科医師は元ヤンゴン歯科大学長口腔外科教授Dr.Paine SoeとFICDミャンマー副会長Dr.Myo Thant、プロジェクトリーダー FICDミャンマー Dr.Kyu Kyu Saewinと大学教職員等の総勢30名程であった。

現地は電気や水道も供給が不安定であり医療器具も何一つ完備されておらず日本から持ち込む大量の器材の準備に大変苦勞をした。現地で使用する大型バッテリーや手術器具と水の用意はヤンゴン歯科大学が担当した。そして何より海外で医療行為を行う為に海外短期医療活動のビザの申請等にも厳しい審査があり時間と労力を要した。

My Volunteer Activities as A Dentist

ICD Japan Section

Tadashi MIZUTANI, D.D.S., PhD., M.I.C.D.

I and Dr. Ohno who was prof of Aichi-Gakuin Univ of Dental College, carried out volunteer activities abroad in India, Nepal and children about oral health.

From 1998 I visited Myanmar as a member of the International assistance mission of Aichi-Gakuin Univ. The team was composed of some Japanese dentist and dental hygienist and oral surgeon of Yangon Univ. We provided free medical care in village there is no dentist. Although it was treated as much as possible, such as instruction brushing, scaling root planning, fillings and tooth extraction, medical activity in no electrical equipment and plumbing was a continuous struggle.

I have continued to volunteer activities for 35 years I appreciate that could have really good experience.

Key words : APDC, A Village without Doctor, Volunteer Dental Care, ICD International Exchange